

第17回 亜鉛ダイカスト年間大会講演会ご案内

本年(2017)年は亜鉛ダイカスト年間にあたります。当協会においては「**亜鉛ダイカスト知恵と工夫で 時代に挑め**」を今年の標語に掲げ、亜鉛ダイカスト技術の向上および需要の振興を目的に各種事業を展開しております。

その最大のイベントとして、第17回 亜鉛ダイカスト年間大会講演会を私ども二団体の共催により、下記の日時、会場において開催致します。

業務ご多忙の折りとは存知上げますが、万障お繰り合わせの上、ご来場くださいますようご案内申し上げます。

参加ご希望の方はホームページ <http://www.jlzda.gr.jp/> または別紙申込書に所定事項をご記入の上、大会事務局まで FAX でお申込み下さい (参加費は無料です)。

日 時： 2017年11月28日(火)

受付開始 9時30分

講演開始 10時00分

講演終了 16時50分

会 場： 機械振興会館 地下2階 ホール (東京都港区芝公園 3-5-8)

参加費： 無 料

講演集： 1,000円 (当日販売)

共 催： 日本鋳業協会 鉛亜鉛需要開発センター、一般社団法人 日本ダイカスト協会



東京メトロ日比谷線

神谷町下車 徒歩8分

都営地下鉄三田線

御成門駅下車 徒歩8分

都営地下鉄大江戸線

赤羽橋駅下車 徒歩10分

都営地下鉄浅草線

大江戸線

大門駅下車 徒歩10分

JR 山手線 京浜東北線

浜松町駅下車 徒歩15分

講演プログラム (予定)

2017年11月28日(火) 機械振興会館 地下2階 ホール

10:00~10:05	開会の辞	日本鋳業協会 理事 鉛亜鉛需要開発センター長	築城 修治
10:05~10:15	主催者代表挨拶	日本鋳業協会 専務理事	加藤 元彦
10:15~10:25	来賓ご挨拶	経済産業省 製造産業局 素材産業室 室長	岡本 繁樹

※講演時間に質疑応答を含みます

講演時間	No.	講演題目	発表者	
10:25~10:55	1	亜鉛地金の需給動向について	三井金属鋳業(株)金属事業部 金属営業部 部長	菅原 健二
		近年および足元の国内亜鉛地金の需要動向、および国内外の需給バランスとその動向について。		
10:55~11:25	2	亜鉛合金ダイカストの欠陥の解析事例と 対策の考え方	サトウ鑄造技術研究所 所長 工学博士	佐藤 健二
		亜鉛合金ダイカストの欠陥はガス、凝固形態、湯流れが主な発生要因となっている。ダイカストの形状と欠陥形態、組織の解析事例から見えてくる原因特定と対策の考え方を紹介する。		
11:25~11:55	3	亜鉛合金ダイカストにおける粒間腐食に ついて	(一社)日本ダイカスト協会 技術部 部長	渡邊 一彦
		亜鉛ダイカストは薄肉、鑄造性、機械的特性に優れる一方、粒間腐食が発生する問題もある。近年の日本製品ではほとんど発生していないが、輸入製品について不純物による粒間腐食の問題が発生している。市販の亜鉛合金ダイカスト製品の材料分析結果と過去の調査資料について報告する。		
11:55~13:25	<昼食>			
13:25~13:55	4	亜鉛合金ダイカスト用金型に於ける表面 改質の適応と製品品質改善	(株)エーケーダイカスト 工業所 技術部 課長	河田 潤
		亜鉛合金ダイカスト用金型には一般的に表面改質を行なわないが、ダイカスト製品品質向上には金型に対し表面改質の適応は欠かせない。今回、弊社で実用する金型表面改質と品質改善例を紹介する。		
13:55~14:25	5	亜鉛合金ダイカストにおける焼付きの原 因と進展メカニズム	YKK(株) 工機技術本部 分析・解析センター PJ担当	水林 舞
		ダイカストにおいて、金型表面の焼付きにより引き起こされる亜鉛附着は生産効率の低下を招き、製造工程において未だ深刻な問題となっている。亜鉛附着の原因と進展メカニズムを解明し、シミュレーションから予測される鑄造欠陥との関連性を報告する。		
14:25~14:35	<休憩>			
14:35~15:05	6	ミニカーの歴史から紐解く、ダイカスト 技術	(株)秋葉ダイカスト工業所 事業管理部 部長	森川 隆志
		亜鉛合金ダイカストの歴史を辿ろうとすると、自社の製品でも古いものは中々手に取ることは難しい。そこで誰もが手にすることができるミニカーを題材に、その時々の技術を探ってみる。		
15:05~15:25	7	亜鉛用パーティング射出ホットチャンバ ーダイカストマシンと自動化設備	(株)ヒシヌママシナリー 取締役 サービス部部長	菱沼 慎介
		小型高性能なダイカスト製品に最適なパーティング射出ダイカストマシンを紹介する。またダイカストに関する最新設備、周辺装置(取出口ロボット、製品トリムシステム等)を紹介する。		
15:25~15:45	8	亜鉛合金ダイカストの亜鉛ドロス再生に ついて	(株)ホンダロック 開発本部 生産技術部 技術主任	銀島 次男
		ご紹介する改善は、亜鉛の溶解工程で発生するドロスをこれまで人手作業で攪拌し再利用する方案より、溶融めっき業界のドロス再生機を取入れ、回収率UPの技術が確立できましたのでご紹介致します。		

15:45～15:55	<休憩>			
15:55～16:15	9	建築用鋳前における亜鉛ダイカストの適用例	美和ロック(株) 盛岡工場 生産技術課 課長	北方 秀和
	アルミに比べて溶解温度も低く寸法精度も高い亜鉛ダイカストではあるが、建築金物においては、各種法令により使用される箇所が限られる。そこで当社における亜鉛ダイカストが適用されている例を紹介する。			
16:15～16:45	10	亜鉛-アルミニウム-銅系ダイカストのマイクロ組織と機械的性質	ものづくり大学 技能工芸学部 製造学科 教授 工学博士	西 直美
	亜鉛合金ダイカストの需要拡大を目指し、その比強度（引張強さ／密度）をアルミニウム合金並に高めるため、Al と Cu の含有量を増加してマイクロ組織及び機械的性質を調査した結果について紹介する。			
16:45～16:50	閉会の辞		(一社)日本ダイカスト協会 専務理事	江口 信彦